



取扱説明書

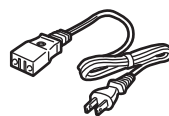
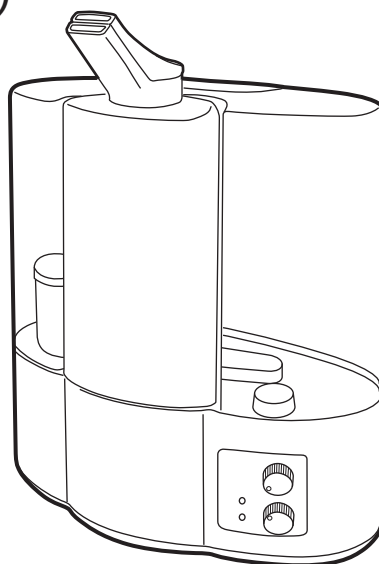
保証書付

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

超音波+加熱式
ハイブリッド式加湿器

KH-A554 (5.5リットル)



も く じ

安全上のご注意	1～4
各部の名称とはたらき	5～6
使用上のご注意	6
使いかた	7～10
お手入れと保管	11～12
故障かな?と思ったら	13
仕 様	13
アフターサービスについて	14
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社加湿器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡又は重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告



禁止

交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない

- 延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火や火災の原因になります。

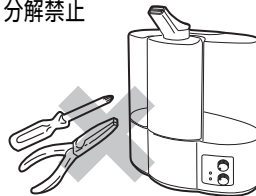


分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない

- 発火したり、異常動作してけがの原因になります。

※修理はお買い上げの販売店へご相談ください。



指示に従う

電源プラグは根元まで確実に差し込む

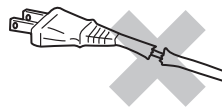
- 感電や発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない

- 不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電・けがの原因になります。



指示に従う

包装用ポリ袋はお子さまの手の届かない場所に保管する

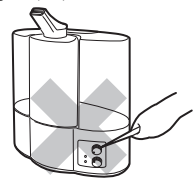
- 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。



禁止

開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない

- 感電や異常動作してけがをする原因になります。



警告

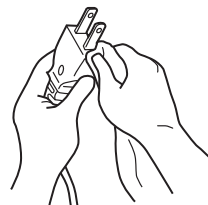


定期的に電源プラグのほこりを取る。電源プラグにピンやゴミを付着させない

指示に従う

●ピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

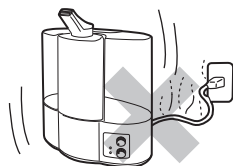
電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。



使用中に本体に異常があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

指示に従う

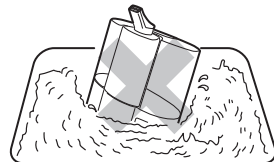
●感電や発火の原因になります。



水ぬれ禁止

本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

●感電・ショート・火災・故障の原因になります。



禁止

お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤を使用しない

●有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。



禁止

幼児の近くや不安定な場所で使用しない

●転倒すると水がこぼれたり、けがをする原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない

●また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災や、感電の原因になります。
※結束バンドは必ず外す。



禁止

お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

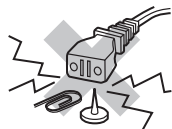
●感電・けがの原因になります。



禁止

マグネットプラグ、マグネットプラグ受けに金属物などを付着させない

●ショートして、火災・感電の原因になります。



禁止

幼児の手の届く範囲で使わない、マグネットプラグや電源プラグをなめさせない

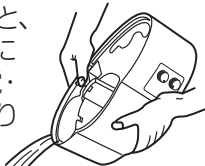
●感電やけがの原因になります。



排水するときは、本体から水タンク、ダクトを外し排水方向に従って排水する

指示に従う

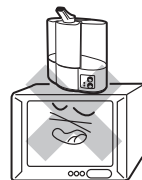
●排水方向を間違えると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。



禁止

電気製品や精密機器（パソコン）などの近くでは使用しない

●電気製品が加湿によって湿気をあびたり、転倒によって浸水すると感電・故障・発火の原因になります。



警告



指示に従う

水タンクの水は毎日新しく入れ替える

- 水を入れ替えないで長期間使用すると、雑菌やカビなどが繁殖し、異臭が発生したり、健康を害する原因になります。



禁止

吹出口から噴霧される霧は吸入しない

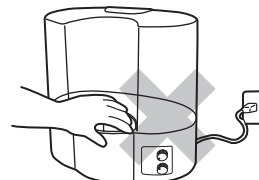
- 健康を害する原因になります。



禁止

吹出口やダクトを外したまま使用しない

- 誤って霧化部（振動子）を触って、感電やけがの原因になります。また、噴霧が広がり本体の故障や床を濡らす原因になります。（ご使用中に霧化部（振動子）や水柱に触ると痛みを感じる場合があります）



注意



指示に従う

電源プラグ、マグネットプラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグ、マグネットプラグを持って引き抜く

- 感電やショートして発火することがあります。



プラグを抜く

長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく

- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



禁止

水タンク内にお湯（40℃以上）や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

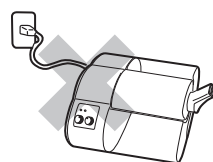
- 故障の原因になります。
- ※必ず水道水を使用してください。



禁止

水のない時や本体を倒した状態では絶対に使用しない

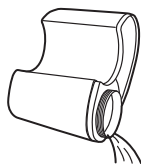
- 故障の原因になります。また、水の無い状態で運転をすると振動子の故障の原因になります。



指示に従う

寒冷地などで凍結のおそれのあるときは、水タンク・水槽・霧化部の水を捨てる

- 水タンクが割れたり、故障の原因になります。



禁止

この加湿器は室内（居住空間）の加湿専用です。これ以外の目的では使用しない

- 漏電・火災・感電・やけどなどの原因になります。



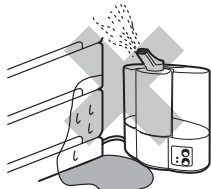
⚠ 注意



禁止

湿度の高い(70%以上)ところでは使用しない

- 家具や床を湿らせたりぬらす原因になります。



禁止

吹出口や吸気口をふさがない

- 紙や布などでふさぐと変形や故障の原因になります。



禁止

使用中や水タンク・水槽・霧化部に水が入った状態では持ち運んだり、傾けたり、動かしたりしない

- 水がこぼれ、床などがぬれる原因になります。



禁止

本体の上に腰をかけたり、足をのせたりしない

- 水がこぼれたり、破損の原因になります。



禁止

水槽や霧化部への直接給水はしない

- ショートや感電の原因になります。



指示に従う

移動や持ち運びの時は注意をする

- 落下するとかげの原因になります。また、引きずって移動などをおこなうと畳や床などに傷を付ける原因になります。



禁止

専用の電源コード以外を使用したり、他の機器に使用しない

- 発火や故障の原因になります。



指示に従う

お手入れはこまめにおこなう

- 霧化部(振動子)に水アカなどが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や故障の原因になります。



禁止

本製品は一般家庭用です。絶対に業務用に使用しない

- 本製品に無理な負担がかかり、火災・事故・故障の原因になります。



禁止

水タンクの取っ手を持ってふり回さない

- 取っ手が破損し、けげの原因になります。



禁止

掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない

- 変質・破損などによりけげ・事故の原因になります。



禁止

使用中にお手入れをしない

- 誤作動やけげの原因になります。



指示に従う

使用する環境に注意する

- 使用する環境により本体や周辺(床や置台)に水滴が付着したり、濡れる原因になります。



禁止

直射日光が当たる場所や暖房機器の近くなど温度が高くなる場所に本体を設置しない

- 水漏れや噴霧しなくなる原因になります。
- プラスチック部分が変形・変質することがあります。

- 室内の温度が低い状態や湿度が高い状態
- 空調機器などの風向き状態
- 室内が無風状態で噴霧が拡散されない状態
- 加湿量を最大で運転しているとき
- 狭い場所や閉め切った場所

水滴が付着したり床などが濡れるときは、7ページの「使用する環境に注意」を参照して注意しながら使用してください。



禁止

本製品は屋内専用です。絶対に屋外で使用しない

- 屋内での使用に基づき設計されています。屋外で使用すると、故障・漏電・火災・事故の原因になります。

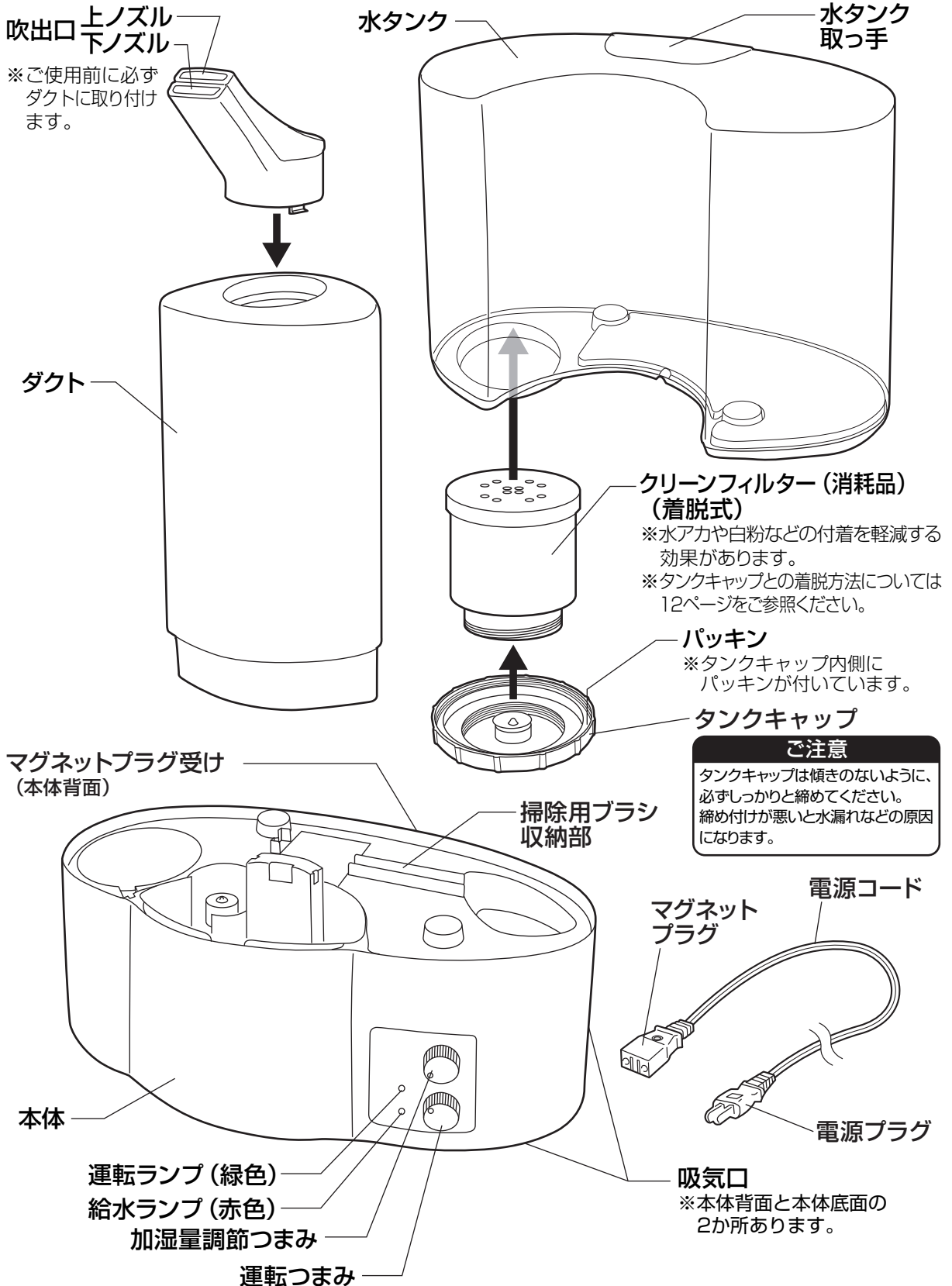


禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

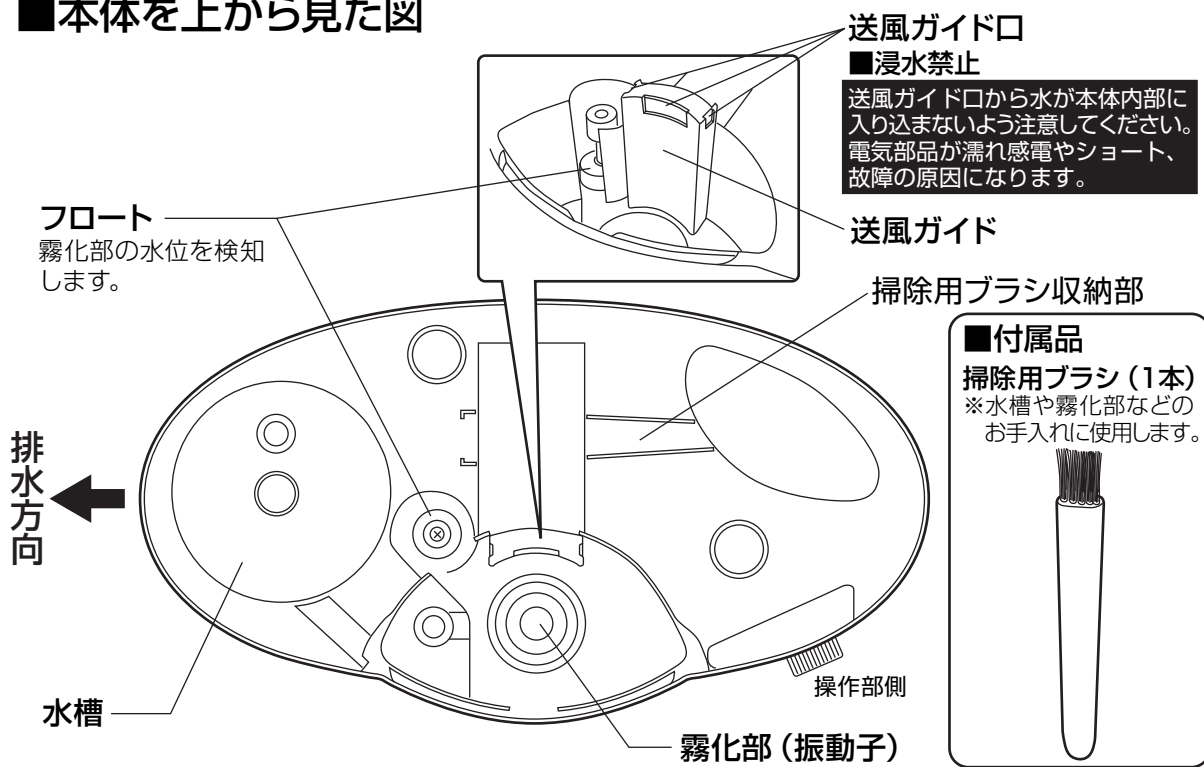
- 製品の変質や劣化による破損・故障・けげ・事故の原因になる場合があります。
- ※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。

各部の名称とはたらき



各部の名称とはたらき つづき

■本体を上から見た図



使用上のご注意

■加湿器の周辺にできる白粉について

- 加湿器から発生する霧が蒸発すると加湿器の周辺に白い粒状のものが残ることがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が固化化したもので、有害なものではありませんが、加湿器周辺で電気製品や精密機器 (パソコン) などを使用されたり、家具などの近くで使用すると霧が蒸発したあと白粉が生じ、動作不良や故障、家具などを傷める原因になる場合があります。

白粉が付着した場合は、すぐに水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取ってください。

■霧化部 (振動子) 周辺の付着物 (水アカ) について

- 加湿器を使用していると、霧化部の周辺に変色した付着物や白い付着物が付くことがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が引き寄せられ水アカとなって付着したものです。

水アカは放置すると固着して取れなくなり、故障や水漏れの原因となりますので、必ずこまめに付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってお手入れしてください。

■炎色反応について

- 燃焼器具のある室内で加湿器をご使用になると、炎の色が赤味を帯びてくる場合があります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が反応 (炎色反応) したためです。異常ではありません。

使 い か た

1 平らな安定した場所に置きます

⚠ 警告



幼児の近くや不安定な場所で使用しない

●転倒すると水がこぼれたり、けがをする原因になります。

禁止

.....ご使用上の注意.....

■正しい置き場所

吹出口から上方1m以内に噴霧をさえぎる物がなく、壁、家具などの変形、シミ防止のため、周囲との距離が充分にとれる、安定した水平な場所に置いてご使用ください。

■良くない置き場所

特に注意していただきたい置き場所

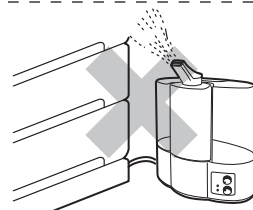
■本体の設置場所に注意

- 直射日光が当たる場所や暖房機器の近くなど温度が高くなる場所に本体を設置しない。
- 水タンクを本体にセットしたあと水タンクを何度も持ち上げない。

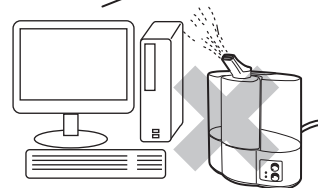
熱で水タンク内の空気が膨張し水タンクから水が押し出されたり、水タンクを何度も持ち上げるにより必要以上に水が流れ出て水槽内の水位が上がり、水漏れや噴霧が少なくなったり、出なくなる原因になります。

このような場合は、水タンクを取り外し水槽内の水を一度排水してから運転してください。

- 吹出口から出る噴霧が直接、家具、壁、カーテン、天井や紙類（ふすま・書物・ポスターなど）にあたる場所
家具などにシミや変形がでけたり、故障の原因になることがあります。また、白粉が家具などに付着することがあります。（特に高級家具などがある場所でご使用の場合はご注意ください。）



- 傾いた場所・不安定な場所・電気製品や精密機器（パソコン）などの近く
電気製品が加湿によって湿気をおびたり、転倒すると水がこぼれ、感電・故障などの原因になります。また、静電気により白粉が電気製品や精密機器（パソコン）に付着して故障の原因になります。



■使用する環境に注意

使用する環境により本体や周辺（床や置台）に水滴が付着したり、濡れることがあります。

- 室内の温度が低い状態や湿度が高い状態
- 空調機器などの風向き状態
- 室内が無風状態で噴霧が拡散されない状態
- 加湿量を最大で運転しているとき
- 狭い場所や閉め切った場所

水滴が付着したり床などが濡れるときは、下記のように使用してください。

- 加湿量を調節して少なくする。
 - 空調機器などの風向きをかえる。
 - 空気中で噴霧が気化するようにテーブルの上など床から離して本体を設置する。
- ※特に就寝時や近くから離れる場合は注意してください。

使 い か た っ づ き

2 ダクトに吹出口を取り付けます

ダクトを軽く押さえ、吹出口を「カチッ」と音がするまで、はめ込みます。



3 水タンクに水を入れます

本体から水タンクを取り外し、タンクキャップを外して水タンクの中に水道水を入れます。水を入れたら、タンクキャップをしっかり締めます。

⚠ 注意



水タンク内にお湯(40℃以上)や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

禁止 ●故障の原因になります。※必ず水道水を使用してください。

……ご使用上の注意……

※タンクキャップを締め付ける前にタンクキャップの内側にパッキンが付いていることを確認してください。パッキンが取り付けられていないと水漏れの原因になります。

※タンクキャップは傾きのないように、必ずしっかりと締めてください。タンクキャップを締め付けたあとに、タンクキャップを下側にして水タンクを2~3回軽く振り、水タンクから水漏れがないか必ず確認をしてから本体にセットしてください。タンクキャップの締め付けがゆるかったり、傾いて締め付けられたりすると、水タンクから水漏れすることがあります。

※水タンク・水槽・霧化部に異物(ヘアピン・マッチ棒・クリップなど)を入れないでください。故障の原因になります。

※水タンクの取り扱いには丁寧におこなってください。給水や本体へのセット、またはお手入れの際に落下させたり衝撃を与えると破損や故障の原因になります。

4 水タンクを本体にセットします

水タンクを本体にセットした後、約1分間程度は運転つまみを「ON」にしない。霧化部(振動子)などの故障の原因になります。

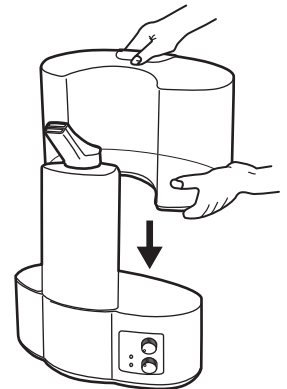
- 水タンクの取っ手と底部を持ち両手で水タンクを支え、ゆっくりと本体にセットします。
- この時水タンク内の水が、水槽や霧化部に流れ込んでいるかを一度水タンクを持ち上げ確認します。

⚠ 警告



吹出口やダクトを外したまま使用しない

●誤って霧化部(振動子)を触って、感電やけがの原因になります。また、噴霧が広がり本体の故障や床を濡らす原因になります。(ご使用中に霧化部(振動子)や水柱に触ると痛みを感じる場合があります)



……ご使用上の注意……

※霧化部に水をいっぱいにするまで約50秒かかります。

※水槽や霧化部への直接給水はしないでください。

※水タンクや吹出口、ダクトが正しくセットされていないとすき間などから噴霧が漏れ、水滴となって流れ出し床などをぬらしたり故障の原因になります。

※水タンクを本体にセットしたあと何度も持ち上げると、水タンクから必要以上に水が流れ出て水槽の水位が上がり、水漏れや噴霧が少なくなったり、出なくなる原因になります。

このような場合は、水タンクを取り外し水槽内の水を一度排水してから運転してください。

使 い か た つ き

5 マグネットプラグをマグネットプラグ受けに差し込みます

- マグネットプラグやマグネットプラグ受けにゴミや金属物が付着していたら、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り除きます。

⚠ 注意



専用の電源コード以外を使用したり、他の機器に使用しない

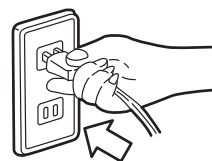
- 発火や故障の原因になります。

禁止

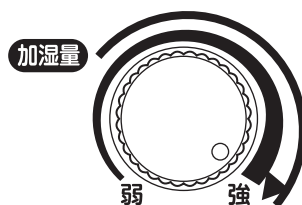
6 結束バンドを必ず外してから電源プラグをコンセントに差し込みます

……ご使用上の注意……

- ※電源コードを束ねたままで使用しないでください。
- ※運転つまみが「OFF」になっているのを確認し、電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- ※水のない時や本体を倒した状態では絶対に通電しないでください。けがや故障の原因になります。



7 加湿量調節つまみを右の方向へいっぱいまで回し「強」の位置に合わせます



8 運転つまみを「ON」に合わせます

- 運転つまみを「ON」に合わせると、運転ランプ（緑色）が点灯し加湿運転を開始します。
- 本体には補助ヒーターが内蔵されています。補助ヒーターの働きで水を適度にあたためます。

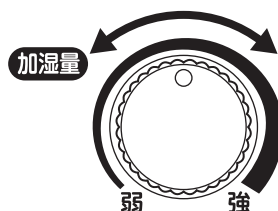
……ご使用上の注意……

- ※水タンクをセットした直後は、運転つまみを「ON」にしないでください。約1分間程度待ってから「ON」にしてください。
- ※運転つまみを「ON」にしてから水があたたまるまでに約15分程度かかります。



■加湿量を変えるには（加湿量調節つまみ）

加湿量を「弱」から「強」の無段階で調節をすることができます。お好みに合わせて調節してください。



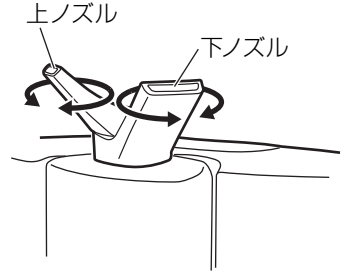
……ご使用上の注意……

- ※使用する環境により本体や周辺（床や置台）に水滴が付着したり、濡れることがあります。水滴が付着したり床などが濡れるときは、7ページの「使用する環境に注意」を参照して注意しながら使用してください。
- ※本体の設置場所により水漏れや家具などにシミや変形が起きたり、電気製品などが故障することがあります。7ページの「特に注意していただきたい置き場所」を参照して置き場所に注意して使用してください。

使 い か た つ き

■噴霧の方向を変えるには

吹出口の上ノズル・下ノズルはそれぞれ360度回転させることができます。お好みに合わせて調節します。

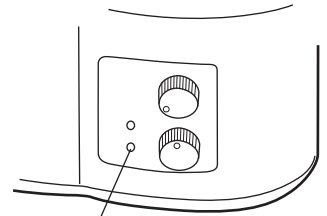


.....ご使用上の注意.....

※噴霧が家具や精密機器（パソコン）などに直接かかると、噴霧に含まれるカルシウムなどのミネラル分が固形化し、白粉が付着することがあります。このような場合は、噴霧が直接かからないように噴霧の方向を変えてください。

■給水ランプ（赤色）について

水タンクの水が無くなると、給水ランプ（赤色）が点灯して、自動的に加湿を停止します。水タンクに水を補給して運転を再開するか、運転つまみを「OFF」にします。



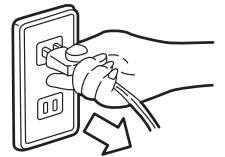
給水ランプ（赤色）

9

ご使用後は電源プラグをコンセントから抜きます

- 運転つまみを「OFF」にしてから電源プラグを抜きます。
- 水アカの固着防止のため排水をします。

※霧化部周辺が熱を持つことがありますので、少し時間をおいてから排水してください。



⚠ 注意



長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく

プラグを抜く

- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



寒冷地などで凍結のおそれのあるときは、水タンク・水槽・霧化部の水を捨てる

指示に従う

- 水タンクが割れたり、故障の原因になります。

.....ご使用上の注意.....




※長時間ご使用にならないときは、水タンクと本体に残っている水は必ず排水してください。そのまま放置しておくと水漏れやカビの発生、異臭の原因になります。



■水タンク内の水が凍結するおそれがあるとき

- 水タンク内の水が凍結するおそれがあるときは、水タンク内の水を捨てます。万一凍結したときは、熱湯を注いだり他の熱源を近づけたりせず、常温で自然に溶かします。

お手入れと保管

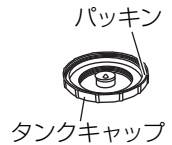
■霧化部周辺が熱を持つことがありますので、お手入れや移動の際は電源プラグを抜き、少し時間をおいてからおこないます。水タンクの水は捨て、菌やカビの繁殖や異臭防止のため、下記の要領に従ってお手入れをおこないます。

⚠ 警告		
<p> ぬれ手禁止</p> <p>お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電・けがの原因になります。 	<p> 水ぬれ禁止</p> <p>本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・ショート・火災・故障の原因になります。 	

⚠ 注意		
<p> 禁止</p> <p>お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。 <p>※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。</p>	<p> 禁止</p> <p>掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●変質・破損などによりけが・事故の原因になります。 	

■水タンク (毎回)

- タンクキャップを外し、水タンク内に水を半分くらい入れ、タンクキャップをしっかりと締めて水タンクを軽く振り、水を排水します。(2～3回繰り返してください)
- お手入れのあとは外側の水気をきれいにふき取ります。



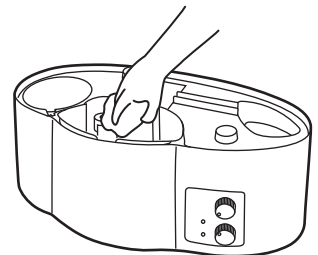
ご使用上の注意

- ※タンクキャップのパッキンが外れたときは、元どおりに取り付けてください。(水漏れの原因)
- ※ご使用後や給水時に水タンクを持ち上げたとき、水タンク底面についた水滴が滴下することがあります。水タンクを持ち上げるときや持ち運ぶときは床などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。


■水槽・霧化部 (1週間に1回以上)

- 水タンク・吹出口・ダクトを外して、本体に指示してあります排水方向に本体を傾け排水します。
- 付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって水槽や霧化部の水アカや汚れを取ります。

水アカは放置すると固着して取れなくなります。必ずこまめにお手入れをしてください。

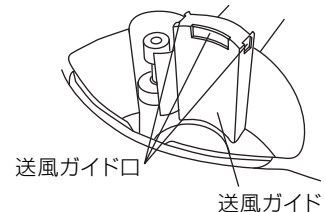


⚠ 警告

-  **禁止**
- お手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤を使用しない
- 有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

ご使用上の注意

- ※お手入れ中は、水槽や霧化部に水をいっぱい入れないでください。
- ※霧化部のお手入れは付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってお手入れしてください。金属ブラシなどのかたい物で霧化部の表面をこすらないでください。傷がつき故障や腐食の原因になります。
- ※お手入れ中や排水時などは、送風ガイド口から水が本体内部に入り込まないように注意してください。電気部品が濡れ故障の原因になります。



- フロートの回りのゴミは取り除きます。
- ※フロートの回りにゴミなどが付着するとフロートが正常に動作しない場合があります。

お手入れと保管 つづき

ワンポイントアドバイス

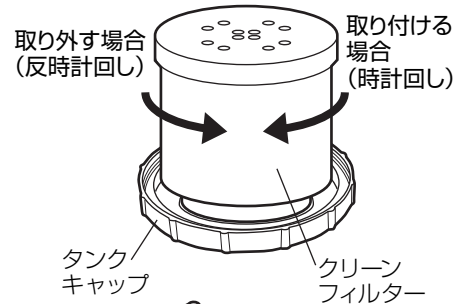
■霧化部の水アカが清掃してもきれいにならない場合

酢またはレモン水25ml（大さじ約2杯）を混ぜた水（1ℓ）を水タンクに入れ、約15分運転してから、お手入れをしてください。

※霧化部周辺が熱を持つことがありますので、お手入れは少し時間をおいてからおこなってください。

※タンクキャップはクリーンフィルターを取り外してから水タンクに取り付けてください。

（クリーンフィルター、タンクキャップの着脱）
タンクキャップを持ってクリーンフィルターを下図のように回します。



■クリーンフィルター（1週間に1回以上）

●クリーンフィルターは水で軽くすすぎ洗いをし、日陰でよく乾かします。

※クリーンフィルターは水道水に含まれるカルシウムなどのミネラル分を吸着し、水アカや白粉などの付着を軽減する効果があります。

■クリーンフィルターの交換時期

クリーンフィルターは消耗品です。交換時期の目安は、1日約8時間の運転で約半年です。

■吹出口・ダクト（1週間に1回以上）

●付着している水アカなどを、水洗いしながら柔らかいふきんでふき取ります。

■吸気口（1か月に2回以上）

●吸気口や周辺のほこりを、掃除機のソフトブラシなどで吸い取ります。

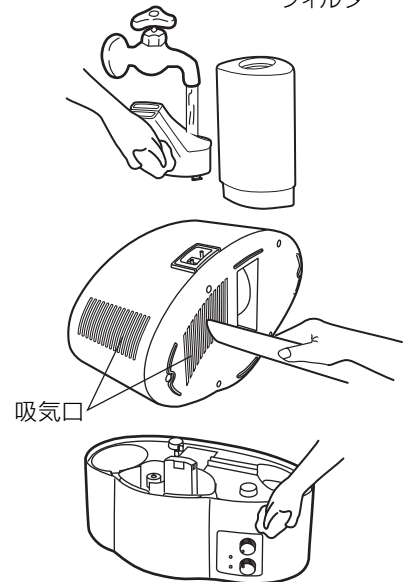
■本体

●水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ります。

落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかいふきんで汚れをふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤分が残らないようきれいにふき取ります。

●本体の丸洗いは絶対におこなわない。

※お手入れの後は、水分をきれいにふき取ってください。クリーンフィルター・吹出口・ダクト・水タンクが正しく取り付けられていることを確認してから使用します。



■保 管

●お手入れした後よく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせて、直射日光を避け湿気の少ない場所に保管します。（湿ったまま保管するとカビの発生や故障の原因になります。）

●シーズン中にクリーンフィルターを保管する場合は水タンクから外し、よく乾燥させ、ビニール袋などに入れ保管します。

故障かな?と思ったら

次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
加湿しない	●水タンクの水がなくなっていないですか?	●水タンクに水を給水してください。
	●運転つまみが「OFF」になっていませんか?	●運転つまみを「ON」に合わせてください。
運転しない	●電源プラグ、マグネットプラグが抜けていませんか?	●電源プラグ、マグネットプラグを確実に差し込んでください。
	●マグネットプラグに金属物などが付いていませんか?	●金属物などを取り除いてください。
	●給水ランプが点灯していませんか?	●水の量を確認して給水してください。
電源プラグが異常に熱くなる	●コンセントの刃受け部がゆるくなっていませんか?	●コンセントをお調べください。
	●たこ足配線や延長コードを使用していないですか?	●延長コードやコンセントの定格以内でご使用ください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか?

- 運転つまみを「ON」にしても動かないことがある。
- 電源コードの被覆が破れている。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れする。
- その他の異常がある。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

ご使用中止!

故障や事故防止のため、運転つまみを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

仕 様

電 源	交流100V 50-60Hz
消 費 電 力	80W
製 品 寸 法 (約)	幅：325 × 奥行：185 × 高さ：385mm
製 品 質 量 (約)	3.2kg
コ ー ド 長 (約)	1.5m
水タンク容量 (約)	5.5ℓ
※加湿量 (目安)	約400ml/h ※強運転時
※適用床面積の目安	木造和室：約7畳 プレハブ洋室：約11畳 ※強運転時
※連続使用 (加湿) 時間 (約)	13時間 ※強運転時
安 全 装 置	オートOFF機能 (給水ランプ点灯時、ヒーター・振動子・ファンの停止) サーモスタット (温度過昇防止装置)、温度ヒューズ、電流ヒューズ

※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更する場合があります。

※本製品の加湿能力について (仕様欄の※印)

加湿量、適用床面積、連続使用 (加湿) 時間につきましては、室温20℃・湿度40~60%の条件の基で測定した値を表示しています。製品の加湿能力は部屋の温度・湿度、部屋の構造・材質、使用されている暖房機器などの影響で変化します。ご使用される条件によっては表示値に対して差異が生じることがあります。

■電気代について

強運転時 (80W) : 1時間あたり 約2.2円

※電気代は、電気料金目安単価 27円/kWhを基に算出しています。

アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。
お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買い上げ日より1年です。
保証期間中の修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。ただし、クリーンフィルターは消耗品ですのでクリーンフィルターのご注文は保証期間内でも有料とさせていただきます。
- ③保証期間経過後の修理（有料）についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ④この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」へお問い合わせください。
- ⑥交換用クリーンフィルター（有料）のご注文につきましては下記「山善 家電お客様サービス係」へお問い合わせください。

この製品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

●FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は、商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

●FAXでのご相談は  0120-680-287

●Eメールでのご相談は info_m@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・品番をご連絡ください。

J-140801